



2025 年 10 月 28 日

各 位

会 社 名 株式会社コンヴァノ
代表者名 代表取締役社長 上四元 絢
(コード：6574 東証グロース)
問合せ先 執行役員 藤本 光
(TEL：03 (3770) 1190 (代表))

**(開示事項の経過) HM Solution Co., Ltd. との鼻筋形成用糸リフト素材「T-Mesh」の
日本市場における輸入代行業務開始のお知らせ**

当社連結子会社である株式会社シンクスヘルスケア（以下「シンクスヘルスケア」）は、HM Solution Co., Ltd.（以下「HM Solution」）が開発する鼻筋形成用糸リフト素材「T-Mesh」について、本日付で輸入代行業務に関する契約を締結し、同日より日本市場における輸入代行業務を開始いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

本件は、2025年10月21日付開示の「HM Solution Co., Ltd. との鼻筋形成用糸リフト素材の共同開発および独占輸入代行に関する業務提携契約締結に関するお知らせ」で公表した取り組みの進捗（開示事項の経過）に該当するものです。

記

1. 背景および目的

当社グループは、LG Chem社製ヒアルロン酸注入剤の独占輸入やKOLネットワーク構築等を通じ、自由診療領域における高付加価値商材の取り扱い拡大を進めてまいりました。

今回の輸入代行開始は、その一環として糸リフト分野における製品ポートフォリオを拡充し、特に鼻筋形成（ノーズリフト）を中心とする立体的フェイスデザイン需要への対応力を強化することを目的とするものです。当社グループは、部位・適応解剖領域に応じた設計最適化の方針のもと、他の糸リフト開発案件（中顔面・鼻唇溝等を主対象）と競合せず相互補完する形でポートフォリオを構築しています。HM Solutionとの取り組みは鼻筋形成（ノーズリフト）を主適応とする素材群の確立を目的としており、臨床運用シーンの差別化を図ります。

2. 製品概要（技術的特徴）

- ☐ 製品名：T-Mesh（吸収性糸製品）
- ☐ 主原料：医療用グレードのポリカプロラクトン（PCL）
- ☐ 構 造：複層メッシュ（多層）構造
- ☐ 設計思想：柔軟性と形状保持性の両立により、鼻背～鼻尖やオトガイ等、立体的輪郭形成を志向
- ☐ 想定施術：外科的侵襲を抑えた立体形成（ノーズリフトを主用途）

鼻筋形成では①ヒアルロン酸注入、②プロテナーゼ挿入が主流でしたが、前者は形状の持続性や左右差、反復施術による長期コストの課題、後者は外科的侵襲の大きさや感染・変形・抜去リスクが指摘されてきました。T-Meshは、これらの課題を素材・構造の側面から補完し、非（低）侵襲かつ自然な立ち上がりを志向する新たなアプローチとして導入するものです。当社グループは、多数のクリニックとのPoC（概念実証）を通じて安全性・有用性の確認および市場適合性の検討を行なった上で、輸入代行業務を行なっております。

3. 今後の見通し

シンクスヘルスケアは、本製品の輸入代行を通じて糸リフト領域のラインアップ拡充を図り、既存のヒアルロン酸等の注入系施術とのクロスセル、臨床評価データ（観察研究・有害事象トラッキング等）の体系化、医師教育プログラム（適応・禁忌、操作手順、トラブルシューティング）の整備を推進します。当社は、開示事項の経過に応じて、適時・適切な情報開示を行います。なお、足元では2025年10月に、300院以上の輸入代行委託契約医療機関に対して鼻筋形成用糸リフト素材「T-Mesh」の先進性に関する臨床実績を説明実施中となっております。その内100院以上の輸入代行委託契約医療機関から本製品の大規模ロットの発注を既に受領しており、11月以降、順次納入を開始する予定です。当該受注は、需要動向の把握および当社の在庫・物流体制の検証を兼ねた大型案件であり、販売計画の平準化と供給安定化に資するものです。本輸入代行業務開始が当社の2026年3月期の連結業績に与える影響は現在精査中です。投資家の皆さまの投資判断に重要な影響を及ぼす可能性がある事項については、重要性基準の該当有無を問わず速やかに開示します。

以上